



第7章

資料



a) 写真・スライド・図版の目録及び使用許可証、その他のビデオ等の視聴覚材料

表 7-1-1 写真・スライド・図版の目録及び使用許可証(1/7)

ID 番号	形式	表題	撮影日(年月)	写真撮影者 ／ビデオの製 作責任者	著作権者	著作権者の連絡先	非排他的権利 譲渡
写真 2-1	スライド/ 画像情報	中尊寺供養願文 (部分)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺 〒 029-4195 岩手県西磐井郡平泉 町平泉字衣関 202 tel:0191-46-2211 / fax:0191-46-2216	承諾
写真 2-2	スライド/ 画像情報	東稲山から望む 平泉	2009年8月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社 〒 021-0882 岩手県一関市上大槻 街 3-11 tel :0191-46-4161 / fax:0191-46-4165	承諾
写真 2-4	スライド/ 画像情報	中尊寺航空写真	2009年9月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-5	スライド/ 画像情報	大池伽藍跡	2009年4月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-6	スライド/ 画像情報	月見坂(中尊寺)	2009年6月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-7	スライド/ 画像情報	中尊寺境内で行 われている川西念 仏剣舞	2008年11月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-8	スライド/ 画像情報	金色堂(正面/東 から)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-9	スライド/ 画像情報	軒先(金色堂)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-10	スライド/ 画像情報	正面の扉(金色堂)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-11	スライド/ 画像情報	金色堂内部(正面)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-12	スライド/ 画像情報	金色堂内部(側面)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-13	スライド/ 画像情報	柱(基部)(金色堂)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-17	スライド/ 画像情報	長押(金色堂)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-18	スライド/ 画像情報	中央壇の孔雀の 意匠(金色堂)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-20	スライド/ 画像情報	北西壇の仏像群 (中央は阿弥陀如 来像)(金色堂)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾



表 7-1-2 写真・スライド・図版の目録及び使用許可証(2/7)

ID 番号	形式	表題	撮影日(年月)	写真撮影者 ／ビデオの製 作責任者	著作権者	著作権者の連絡先	非排他的権利 譲渡
写真 2-21	スライド/ 画像情報	南西壇の仏像群 (中央は阿弥陀 如来像)(金色堂)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-22	スライド/ 画像情報	北東から見た金 色堂覆堂	2008年11月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-23	スライド/ 画像情報	東から見た経蔵	2008年11月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-25	スライド/ 画像情報	経箱に収められた 経典	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-26	スライド/ 画像情報	紺紙金銀字交書 一切経	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 2-33	スライド/ 画像情報	毛越寺航空写真	2009年9月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-35	スライド/ 画像情報	円隆寺金堂の礎 石(毛越寺)	2008年11月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-37	スライド/ 画像情報	南東方向から望 む庭園(背後の山 の最高所は塔山) (毛越寺)	2006年9月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-38	スライド/ 画像情報	南東方向から望 む庭園(秋)(毛越 寺)	2008年11月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-39	スライド/ 画像情報	南東方向から望 む庭園(冬)(毛越 寺)	2008年12月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-40	スライド/ 画像情報	南東方向から望 む庭園(秋)(毛越 寺)	2008年10月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-42	スライド/ 画像情報	礫敷汀線(洲浜) (毛越寺)	2009年8月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-43	スライド/ 画像情報	出島と立石(毛越 寺)	2008年9月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-44	スライド/ 画像情報	出島と立石(毛越 寺)	2008年10月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-45	スライド/ 画像情報	築山(毛越寺)	2008年5月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-46	スライド/ 画像情報	中島(毛越寺)	2008年5月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾



表 7-1-3 写真・スライド・図版の目録及び使用許可証(3/7)

ID 番号	形式	表題	撮影日(年月)	写真撮影者 /ビデオの製 作責任者	著作権者	著作権者の連絡先	非排他 的権利 譲渡
写真 2-47	スライド/ 画像情報	発掘調査時の中 島(毛越寺)	1990年11月	平泉町教育 委員会	平泉町教育 委員会	平泉町教育委員会 〒029-4192 岩手県西磐井郡平泉 町平泉字志羅山45-2 tel:0191-46-2218 / fax:0191-46-3080	承諾
写真 2-49	スライド/ 画像情報	遣水(毛越寺)	2009年8月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-50	スライド/ 画像情報	遣水(毛越寺)	2009年9月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1 tel:019-629-6177 / fax:019-629-6179	承諾
写真 2-52	スライド/ 画像情報	南から見た遣水 (毛越寺)	2008年11月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-53	スライド/ 画像情報	南から見た発掘 調査時の遣水(毛 越寺)	1984年8月	平泉町教育 委員会	平泉町教育 委員会	平泉町教育委員会	承諾
写真 2-58	スライド/ 画像情報	南から見た常行 堂	2009年9月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-59	スライド/ 画像情報	常行堂で行われ ている延年の舞、 「老女」の舞	2009年1月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-60	スライド/ 画像情報	常行堂で行われ ている延年の舞、 「若女」の舞	2009年1月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-61	スライド/ 画像情報	常行堂で行われ ている常行三昧	2009年1月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-62	スライド/ 画像情報	東方向から望む 観自在王院跡	2009年4月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-63	スライド/ 画像情報	観自在王院跡航 空写真	2009年9月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-64	スライド/ 画像情報	観自在王院跡で 行われている宗教 儀式	2009年5月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-65	スライド/ 画像情報	東方向から望む 観自在王院跡	2009年8月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-66	スライド/ 画像情報	南方向から望む 観自在王院跡	2009年9月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾



表 7-1-4 写真・スライド・図版の目録及び使用許可証(4/7)

ID 番号	形式	表題	撮影日(年月)	写真撮影者 /ビデオの製 作責任者	著作権者	著作権者の連絡先	非排他 的権利 譲渡
写真 2-67	スライド/ 画像情報	東から見た中島 (観自在王院跡)	2009年8月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-68	スライド/ 画像情報	滝石組(観自在王 院跡)	2009年5月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-70	スライド/ 画像情報	無量光院跡航空 写真	2009年9月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-71	スライド/ 画像情報	金銅製瓔珞(出土 品)(無量光院跡)	2005年1月	平泉町教育 委員会	平泉町教育 委員会	平泉町教育委員会	承諾
写真 2-72	スライド/ 画像情報	東方向から望む 無量光院跡(背後 の山は金鶏山)	2009年8月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-73	スライド/ 画像情報	東から望む無量 光院跡	2009年9月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-74	スライド/ 画像情報	北東から見た土 塁(無量光院跡)	2009年8月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-75	スライド/ 画像情報	南から見た本堂の 礎石(無量光院跡)	2009年4月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-76	スライド/ 画像情報	発掘された最も大 きな中島の遺構 (無量光院跡)	2008年10月	平泉町教育 委員会	平泉町教育 委員会	平泉町教育委員会	承諾
写真 2-80	スライド/ 画像情報	西上空から望む 金鶏山	2008年10月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-81	スライド/ 画像情報	金鶏山航空写真	2009年6月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-82	スライド/ 画像情報	西方向から望む 金鶏山	2009年6月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-84	スライド/ 画像情報	金鶏山の山頂の 経塚における甕 の出土状況	1930年11月	平泉町教育 委員会	平泉町教育 委員会	平泉町教育委員会	承諾
写真 2-85	スライド/ 画像情報	南東方向から望 む柳之御所遺跡	2009年6月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-86	スライド/ 画像情報	柳之御所航空写 真	2009年9月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 2-87	スライド/ 画像情報	南西方向から望 む柳之御所遺跡 及び背後の束稲 山	2009年6月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾



表 7-1-5 写真・スライド・図版の目録及び使用許可証(5/7)

ID 番号	形式	表題	撮影日(年月)	写真撮影者 /ビデオの製 作責任者	著作権者	著作権者の連絡先	非排他 的権利 譲渡
写真 2-88	スライド/ 画像情報	東から見た堀跡と 橋脚跡(柳之御所 遺跡)	2008年11月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会	承諾
写真 2-89	スライド/ 画像情報	北から見た池遺 構(柳之御所遺跡)	2005年8月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会	承諾
写真 2-90	スライド/ 画像情報	南西から見た遺 構の航空写真(柳 之御所遺跡)	2003年10月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会	承諾
写真 2-93	スライド/ 画像情報	東から見た主要 建物 C の遺構(柳 之御所遺跡)	2006年6月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会	承諾
写真 2-94	スライド/ 画像情報	南から見た主要 建物 D の遺構(柳 之御所遺跡)	2006年8月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会	承諾
写真 2-95	スライド/ 画像情報	中国産の青白磁 碗(柳之御所遺跡)	2009年10月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会	承諾
写真 2-96	スライド/ 画像情報	仏教儀式のため の鉄製火舎(柳之 御所遺跡)	2009年10月	財団法人岩 手県文化振 興事業団	財団法人岩 手県文化振 興事業団	財団法人岩手県文 化振興事業団 〒 020- 0853 盛岡市下飯岡 11 地 割 185 番地 tel:019-638-9001 / fax:019-638-8563	承諾
写真 2-99	スライド/ 画像情報	仏教儀式のため の鉄製花瓶(柳之 御所遺跡)	2009年10月	財団法人岩 手県文化振 興事業団	財団法人岩 手県文化振 興事業団	財団法人岩手県文 化振興事業団	承諾
写真 4-1	スライド/ 画像情報	中尊寺における 消防訓練	2009年1月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 5-3	スライド/ 画像情報	毛越寺における 曲水の宴	2009年5月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 A4-39	スライド/ 画像情報	金銅製華鬘(金色 堂)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 A4-40	スライド/ 画像情報	金銅製幡頭(金色 堂)	2006年6月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
写真 A4-47	スライド/ 画像情報	南方向から見た 整備前の毛越寺 庭園遣水通水実 験	1984年8月	平泉町教育 委員会	平泉町教育 委員会	平泉町教育委員会	承諾



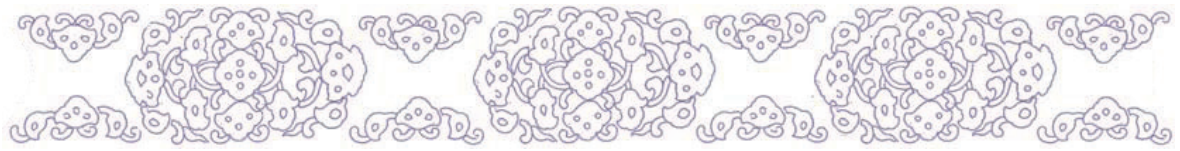
表 7-1-6 写真・スライド・図版の目録及び使用許可証(6/7)

ID 番号	形式	表題	撮影日(年月)	写真撮影者 /ビデオの製 作責任者	著作権者	著作権者の連絡先	非排他 的権利 譲渡
写真 A4-53	スライド/ 画像情報	発掘された礎敷 (毛越寺)	1981年11月	平泉町教育 委員会	平泉町教育 委員会	平泉町教育委員会	承諾
写真 A4-88	スライド/ 画像情報	西から見た柳之 御所遺跡	2009年6月	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株 式会社	川嶋印刷株式会社	承諾
写真 A4-96	スライド/ 画像情報	墨書された折敷 (柳之御所遺跡)	2009年10月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会	承諾
写真 A4-99	スライド/ 画像情報	墨書された折敷 (柳之御所遺跡)	2009年10月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会	承諾
図 1-1	スライド/ 画像情報	世界における位 置図	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所〒102-0083 東京都千代田区麹町 3丁目7番地6 tel:03-5226-1101 / fax:03-5226-1112	承諾
図 1-2	スライド/ 画像情報	東アジアにおける 位置図	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 1-3	スライド/ 画像情報	東北地方におけ る位置図	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 1-4	スライド/ 画像情報	関係市町におけ る位置図	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 1-5	スライド/ 画像情報	推薦資産及び緩 衝地帯の範囲図	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 2-2	スライド/ 画像情報	中尊寺の地図 (116,000)	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 2-3	スライド/ 画像情報	金色堂の図面	1966年12月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
図 2-9	スライド/ 画像情報	金色堂覆堂の図 面	1965年3月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
図 2-10	スライド/ 画像情報	経蔵の図面	1978年11月	中尊寺	中尊寺	中尊寺	承諾
図 2-11	スライド/ 画像情報	大池伽藍跡の地 図(1/2,000)	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 2-14	スライド/ 画像情報	毛越寺の地図(1 /8,000)	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 2-17	スライド/ 画像情報	庭園遺構位置図 (1/2,000)	2009年12月	平泉町教育 委員会	平泉町教育 委員会	平泉町教育委員会	承諾



表 7-1-7 写真・スライド・図版の目録及び使用許可証(7/7)

ID 番号	形式	表題	撮影日(年月)	写真撮影者 /ビデオの製 作責任者	著作権者	著作権者の連絡先	非排他的権利 譲渡
図 2-22	スライド/ 画像情報	観自在王院跡の 地図(1/8,000)	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 2-24	スライド/ 画像情報	無量光院跡の地 図(1/3,000)	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 2-31	スライド/ 画像情報	金鶏山の地図(1 /4,000)	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 2-32	スライド/ 画像情報	柳之御所遺跡の 地図(1/6,000)	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 2-33	スライド/ 画像情報	柳之御所遺跡 の遺構は位置図 (11,800)	2009年12月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会	承諾
図 4-2	スライド/ 画像情報	文化財保護法に よって保護され ている推薦資産 の範囲図(1/ 20,000)	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 4-3	スライド/ 画像情報	推薦資産及び緩 衝地帯における 法規制図(その1) (1100,000)	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 A3-1	スライド/ 画像情報	歴史年表	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
図 A3-2	スライド/ 画像情報	保存修理年表	2009年12月	株式会社プ レック研究所	株式会社プ レック研究所	株式会社プレック研究 所	承諾
	ビデオ	平泉 —仏国土(浄土) を表す建築・庭園 及び考古学的遺 跡群—	2009年12月	岩手県教育 委員会	岩手県教育 委員会	岩手県教育委員会	承諾



b) 保護のための指定に関する文書、管理計画の写し又は管理体制の解説及び関連諸計画(抜粋)

- ・「平泉一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」包括的保存管理計画(本冊)
 - 「平泉一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」包括的保存管理計画(分冊-1)
(中尊寺境内国宝・重要文化財建造物保存管理計画書)(抜粋)
 - 「平泉一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」包括的保存管理計画(分冊-2)
(史跡・名勝に関する保存管理計画)(抜粋)[付属資料-11参照]
- ・文化財保護法[参考資料-1参照]
- ・平泉町総合計画
- ・平泉町観光振興計画
- ・平泉町景観計画
- ・岩手県土地利用基本計画
- ・岩手県都市計画マスタープラン
- ・「平泉の文化遺産」保存管理・活用推進アクションプラン
- ・いわて県民計画



表 7-2 平泉町総合計画

計画期間	2001年度～2010年度
実施主体	平泉町
計画策定者	平泉町
対象範囲	平泉町
目次	<p>I 序章</p> <p>第1章 計画の策定にあたって</p> <p>1-1 計画の目的 1-2 計画の役割 1-3 計画の構成と期間</p> <p>II 現況と課題</p> <p>第1章 平泉町を取り巻く観光の現状と課題</p> <p>1-1 時代状況 1-2 国・県等関連計画 1-3 まちづくりの歩み</p> <p>第2章 現況と課題</p> <p>2-1 平泉町の現況 2-2 町民意向 2-3 平泉町の課題</p> <p>III 基本構想</p> <p>第1章 将来像</p> <p>第2章 まちづくりの基本方針</p> <p>第3章 目標とする人口、世帯、就業者数</p> <p>第4章 施策の大綱</p> <p>4-1 美しい自然のまち 4-2 健やかな福祉のまち</p> <p>4-3 学び楽しむ文化のまち 4-4 快適な生活環境のまち</p> <p>4-5 活気ある産業のまち 4-6 行き交う便利なまち 4-7 共に創るまち</p> <p>第5章 戦略プロジェクト</p> <p>5-1 千年やすらぎプロジェクト 5-2 千年文化プロジェクト</p> <p>第6章 土地利用基本構想</p>
計画概要 (構成資産に関して)	<p>2001～2010年度までの10年間における平泉町の進むべき方向と基本施策、重点施策を明確にし、まちづくりの基本方向を示すことを目的とする計画である。町政の目標・基本方針や具体的な施策を中心に、町行政の立場・役割を明らかにしつつ、国・県・広域圏行政との調整・連携を進めるうえでの指針と位置付けられる。</p> <p>2001年に我が国の世界遺産暫定一覧表に記載された「平泉の文化遺産」は、本計画の全般にわたり、人類の貴重な財産と位置付けられており、その調査・研究・保護・整備及び周辺の町並みづくりなどをまちづくりの課題として掲げている。特に町政の戦略プロジェクト「千年文化プロジェクト」は、推薦資産を主軸に置きつつ、「古都平泉創造事業」、「平泉文化創造事業」等を実施し、推薦資産の保全と調査・整備及び歴史文化観光の推進を図り、次の千年に向けた文化創造と人材育成を進めることとしている。</p> <p>また、土地利用基本構想においては、その基本施策として、推薦資産を結ぶゾーンを「歴史交流ゾーン」として位置付け、自然環境と貴重な歴史遺産の保全と活用を図りつつ、ウォーキング&サイクリングや乗り合い電気タクシーによる周遊観光の推進を掲げている。</p>
連絡先	<p>平泉町役場</p> <p>〒029-4192 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山45-2</p> <p>TEL. 0191-46-2111 FAX. 0191-46-3080</p>

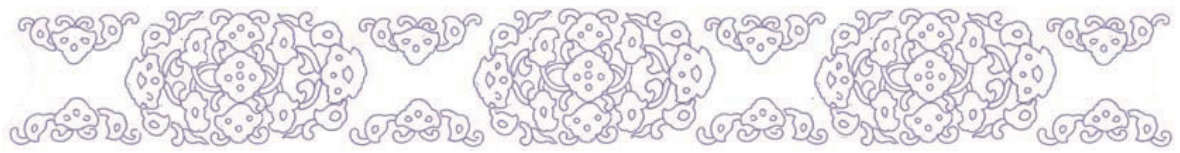


表 7-3 平泉町観光振興計画

計画期間	2006年度～2010年度
実施主体	平泉町
計画策定者	平泉町
対象範囲	平泉町
目次	<p>序章 計画の策定にあたって</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 背景と目的 2. 計画の位置付け 3. 計画の期間 <p>第1章 平泉町を取り巻く観光の現状と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国内の観光動向 2. 平泉町の観光の現状 3. 平泉町の観光の課題 <p>第2章 観光振興の基本的方向</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本理念 2. 基本的方向 3. 目標値の設定 <p>第3章 観光振興の施策展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 魅力あふれる観光地づくり 2. 産業としての観光の振興 3. やさしく迎える観光地づくり 4. 国際観光・広域観光連携の推進
計画概要 (構成資産に関して)	<p>世界遺産登録を目指す平泉の魅力を発信しつつ、来訪者の受け入れ態勢を整備していくために、平泉町における今後の観光の方向性を明らかにし、地域を上げた観光振興を目指すことを目的とする。</p> <p>平泉は全国的に知名度の高い観光地であり、また2001年に我が国の世界遺産暫定一覧表に記載されたことから、今後国内のみならず海外からの外国人観光客の増加が予測されることを前提として、平泉町総合計画に準じた基本理念の下に、観光振興の基本的方向について「魅力あふれる観光地づくり」「産業としての観光の振興」「やさしく迎える観光地づくり」「国際観光・広域観光連携の推進」の4項目に分類して示している。</p> <p>特に、観光の国際化を推進するための施策については、世界遺産にふさわしい景観形成及び観光客の期待を裏切らない景観づくりを推進するため、周遊ルートからの修景事業及び看板規制、町並み整備、景観阻害要因の撤去等を掲げている。</p> <p>また、インバウンドの誘客促進として、国際観光振興機構(JNTO)及び世界遺産を持つ地方公共団体に加え、岩手県・仙台・東北地方の観光地等と連携して誘客活動を推進することとしている。</p>
連絡先	<p>平泉町役場 〒029-4192 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山45-2 TEL. 0191-46-2111 FAX. 0191-46-3080</p>



表 7-4-1 平泉町景観計画(1/2)

計画期間	2008年～2027年 ※ただし、ここでは本計画における景観形成方針のみ揭示
実施主体	平泉町
計画策定者	平泉町
対象範囲	平泉町
目次	<p>序 計画の基本的事項</p> <p>1章 地域の景観的特徴</p> <p>1. 景観の特徴</p> <p>2. 景観の現況</p> <p>2章 課題の把握</p> <p>3章 基本理念</p> <p>4章 景観形成の方針と基準</p> <p>1. 景観形成基本方針</p> <p>2. 景観形成基準</p> <p>3. 景観重要公共施設の整備に関する事項</p> <p>4. 景観まちづくりの推進方針</p>
計画概要 (構成資産に関して)	<p>平泉の文化遺産(推薦資産を含む)とその周辺が一体となって形成する景観を保存継承するとともに、その保全に関し必要な事項を景観法に基づく景観計画として定め、資産の価値にふさわしいまちづくりの実現を図ることを目的としている。</p> <p>1章 地域の景観的特徴</p> <p>平泉の景観における特徴については、「推薦資産のみならず、周囲の自然地形をも包含するものであること」「資産の立地と周辺の自然地形の間に、信仰などの精神的な方位性が意識されていること」「資産と周辺が自然環境のなかで一体化していること」の3点に整理し、それらが今なお継承されていることを重視しつつ、これまで、景観形成の取り組みがまちづくりと一体化した施策の下に展開してきた経緯にも注目している。</p> <p>また、景観の現況については、2003年度に行われた景観資源調査の成果を基に、景観資源を「自然景観資源」「歴史景観資源」「風土景観資源」等に整理している。</p> <p>2章 課題の把握</p> <p>平泉の景観に関する課題について、歴史文化の資産と周辺環境との調和の観点及び景観形成まちづくりの観点から整理する。</p> <p>まず、資産と周辺環境との調和の観点から、資産と周辺の自然環境は良好に保全されているものが多いとしながらも、一部建築物や工作物に景観を疎外する要因がある現状及びそれによる将来の開発に対する懸念が掲げられており、現状を改善した上で、平泉の景観が今以上に美しく価値あるものとして将来に継承される方策が必要であるとしている。</p> <p>次に、景観形成まちづくりの観点から、良好な景観形成のためには景観を守り育てる意識共有が重要であり、法的裏付けによる誘導とともに住民参加によるまちづくりとしての意識共有の仕組みが課題として挙げられている。</p> <p>3章 基本理念</p> <p>本計画は、平泉が有する文化的景観を保全する方針を示しつつ、同時に将来へと継承していくための景観まちづくりの仕組みを用意することによって、住民と行政が連携し、より広く専門家や事業者の協力を得て、住民や平泉を訪れる人が安らぎを感じ、平泉の文化遺産を生かしながら、新たな出会いと文化を創造していくことを基本理念とし、併せて平泉の景観を守り育てることを目標に掲げている。</p>



表 7-4-2 平泉町景観計画(2/2)

<p>計画概要 (構成資産に関して)</p>	<p>4章 景観形成の方針と基準</p> <p>景観法に基づき、平泉における「景観形成基本方針」「景観形成基準」「景観重要公共施設の整備に関する事項」「景観まちづくりの推進方針」それぞれについて、その具体的な計画を示すものである。</p> <p>まず、「景観形成基本方針」は以下の5項目から成る。</p> <p>「Ⅰ 歴史的遺産とその周辺の様相を保全する」……平泉の景観にとって重要な地区を景観法に基づく景観地区として定める。</p> <p>「Ⅱ 景観に調和する建物のたたずまいを守り育てる」……地区別の目指すべき景観像に合った建物等のたたずまいへの規制誘導、景観形成推進の仕組みを整備する。</p> <p>「Ⅲ 文化的景観の眺めを保全する」……文化的景観として重要な眺望景観を選定し、それらを保全するための規制誘導を行う。</p> <p>「Ⅳ 景観に調和した公共施設整備」……景観形成上、重要かつ整備に関する事項等が必要と考えられる公共施設を景観計画に基づく「景観重要公共施設」として指定し、平泉の景観にふさわしい意匠へと誘導を行う。</p> <p>「Ⅴ 景観阻害要因を排除改善し景観向上をはかる」……平泉の景観を疎外すると予想される工作物等について、あらかじめルールを決めて対処する。</p> <p>次に「景観形成基準」は、景観法に基づき建築物や工作物の建築や開発など既存の景観を変更する行為(以下、景観変更行為)のうち、景観へ少なからぬ影響を与える行為については、景観へと配慮する必要があるとし、その配慮の指針や基準について、「①届出(認定申請)が必要な行為」、「②地区別の景観形成基準」、「③眺望景観保全のための景観形成基準」に分類して、詳細かつ具体的に示すものである。</p> <p>また、「景観重要公共施設の整備に関する事項」は、景観形成上重要な役割を担う公共施設を景観法に基づく「景観重要公共施設」として指定する施設について、「①指定の方針」、「②景観重要公共施設の一覧」、「③整備に関する事項」、「④占有等の許可基準」の4項目により、整備に関する事項や占有許可等の基準を定め、平泉の景観と調和する公共施設へと誘導を行うものである。</p> <p>さらに、「景観まちづくりの推進方針」においては、景観まちづくりを進めていくための方針を「①景観まちづくりの仕組みの確立」、「②景観形成基本方針と景観形成基準による景観形成」、「③景観資源の登録による景観形成」、「④各種事業と連携した景観まちづくりアクションプラン」の4項目に整理し、景観計画の目標実現のための機構を示している。</p>
<p>連絡先</p>	<p>平泉町役場 〒029-4192 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山45-2 TEL. 0191-46-2111 FAX. 0191-46-3080</p>



表 7-5 岩手県土地利用基本計画

計画期間	基準年次:2005年～目標年次:2017年
実施主体	岩手県
計画策定者	岩手県
対象範囲	岩手県
目次	<p>前文 土地利用基本計画策定の趣旨</p> <p>1 土地利用の基本方向</p> <p>(1) 県土利用の基本方向</p> <p>(2) 地域別の土地利用の基本方向</p> <p>ア 盛岡地域</p> <p>イ 久慈・二戸地区</p> <p>ウ 宮古地域</p> <p>エ 北上中部地域</p> <p>オ 両磐地域</p> <p>カ 釜石・大船渡地域</p> <p>(3) 土地利用の原則</p> <p>ア 都市地域</p> <p>イ 農業地域</p> <p>ウ 森林地域</p> <p>エ 自然公園地域</p> <p>オ 自然保全地域</p> <p>2 五地域区分の重複する地域における土地利用に関する調整指導方針</p> <p>(1) 都市地域と農業地域とが重複する地域</p> <p>(2) 都市地域と森林地域とが重複する地域</p> <p>(3) 都市地域と自然公園地域とが重複する地域</p> <p>(4) 都市地域と自然保全地域とが重複する地域</p> <p>(5) 農業地域と森林地域とが重複する地域</p> <p>(6) 農業地域と自然公園地域とが重複する地域</p> <p>(7) 農業地域と自然保全地域とが重複する地域</p> <p>(8) 森林地域と自然公園地域とが重複する地域</p> <p>(9) 森林地域と自然保全地域とが重複する地域</p> <p>3 土地利用上配慮されるべき公的機関の開発保全整備計画</p>
計画概要 (構成資産に関して)	<p>県土利用の質的向上に関しては、安全で安心できる県土利用、自然と共生する持続可能な県土利用、美しくゆとりある県土利用といった観点を基本とする。</p> <p>安全で安心できる県土利用の観点からは、自然災害により被害を受ける危険のある地域もあることを踏まえた適正な県土の利用を基本として、地域レベルから県土構造レベルまでのそれぞれの段階で県土の安全性を総合的に高めていく。自然と共生する持続可能な県土利用の観点からは、自然の健全な物質循環の維持、都市的土地利用に当たっての自然環境への配慮、生物の多様性が確保された自然の保全・創出とそのネットワーク化等を図ることにより自然のシステムにかなった県土利用を進めていく。美しくゆとりある県土利用の観点からは、土地利用の高度化等によるゆとりある環境の形成、緑資源の確保・保全、歴史的風土の保存、個性ある景観の形成等を進めるとともに、県民の余暇志向や自然とのふれあい志向へ適切に対応していく。</p>
連絡先	<p>岩手県 環境生活部</p> <p>〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1</p> <p>TEL:019-651-3111</p>

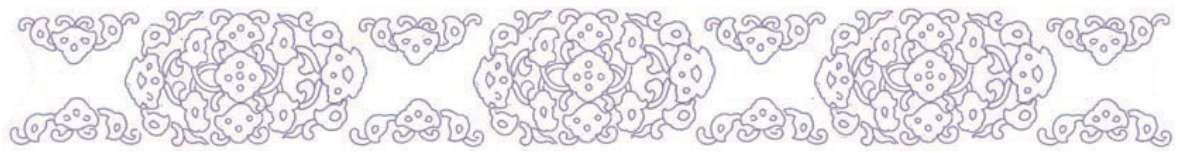


表 7-6-1 岩手県都市計画マスタープラン(1/2)

計画期間	基準年次:2000年～目標年次:2020年
実施主体	岩手県
計画策定者	岩手県
対象範囲	岩手県
目次	都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 盛岡広域都市計画区域マスタープラン 紫波都市計画区域マスタープラン 岩手都市計画区域マスタープラン 雫石都市計画区域マスタープラン 西根都市計画区域マスタープラン 花巻都市計画区域マスタープラン 東和都市計画区域マスタープラン 北上都市計画区域マスタープラン 水沢都市計画区域マスタープラン 江刺都市計画区域マスタープラン 金ケ崎都市計画区域マスタープラン 前沢都市計画区域マスタープラン 一関都市計画区域マスタープラン 千厩都市計画区域マスタープラン 東山都市計画区域マスタープラン 大船渡都市計画区域マスタープラン 陸前高田都市計画区域マスタープラン 遠野都市計画区域マスタープラン 釜石都市計画区域マスタープラン 大槌都市計画区域マスタープラン 宮古都市計画区域マスタープラン 山田都市計画区域マスタープラン 岩泉都市計画区域マスタープラン 久慈都市計画区域マスタープラン 二戸都市計画区域マスタープラン 一戸都市計画区域マスタープラン
	岩手県都市計画ビジョン 序 第1章 都市の現状と課題 第2章 都市づくりに対する県民の意向 第3章 「夢県土いわて」の都市づくりの基本理念 第4章 「夢県土いわて」の目指すべき都市像(基本目標) 第5章 広域生活圏の都市づくりの基本方針 序 節 広域生活圏の都市づくりの基本方針について 第1節 盛岡広域生活圏の都市づくりの基本方針 第2節 岩手中部広域生活圏の都市づくりの基本方針 第3節 胆江広域生活圏の都市づくりの基本方針 第4節 両磐広域生活圏の都市づくりの基本方針 第5節 気仙広域生活圏の都市づくりの基本方針 第6節 釜石広域生活圏の都市づくりの基本方針 第7節 宮古広域生活圏の都市づくりの基本方針 第8節 久慈広域生活圏の都市づくりの基本方針 第9節 二戸広域生活圏の都市づくりの基本方針 第6章 マスタープランに基づく都市づくりの推進 参 考



表 7-6-2 岩手県都市計画マスタープラン(2/2)

<p>計画概要 (構成資産に関して)</p>	<p>仙台藩の支藩に当たる一関藩三万石の城下町として栄えてきた一関市と、奥州藤原氏四代の拠点として荘厳華麗な黄金文化が展開された平泉町を、一体の都市圏として設定するもの。 当該区域では、大型店の郊外進出や中心市街地居住者の高齢化などによって、中心市街地の空洞化による都市機能の低下が懸念されていることから、既にある基盤を活用した快適な都市環境の整備が目標とされている。 このことを踏まえ、本区域の将来像が「平泉を中心とした貴重な歴史・文化を継承し活かす」であることを明確に示すこととしている。 また、区域の特色を活かしていくための方針として、平泉を中心とする貴重な歴史・文化を地域資源として位置付け、街並みづくりや地域の活性化などに活かしていくとともに、水害をはじめとする災害対策とも調和を図っていくこととしている。</p>
<p>連絡先</p>	<p>岩手県 県土整備部 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL:019-651-3111</p>

表 7-7-1 「平泉の文化遺産」保存管理/活用推進アクションプラン(1/2)

<p>計画期間</p>	<p>2007年から2014年</p>
<p>実施主体</p>	<p>岩手県、一関市、奥州市、平泉町、国土交通省(岩手河川国道事務所)、寺社民間団体等</p>
<p>計画策定者</p>	<p>岩手県</p>
<p>対象範囲</p>	<p>一関市、奥州市、平泉町</p>
<p>目次</p>	<p>[保存管理推進アクションプラン] 第1章 アクションプラン策定の概要 第2章 アクションプランの目指す平泉の姿 第3章 現在の姿と課題、施策の基本的方向、実施事業 1 資産の保存管理 2 景観の保全 3 開発・観光による圧力からの保全 4 保存管理意識の醸成 第4章 事業リスト [活用推進アクションプラン] 第1章 1 アクションプラン策定の趣旨 2 実施期間 3 事業推進と信仰管理 4 アクションプランが目指す姿 第2章 現在の姿と課題、施策の基本的方向、実施事業 1 来訪者の受入れ態勢の整備 2 魅力ある地域づくり 3 総合情報の発信と誘客事業の展開 4 地域を支える人と産業づくり 5 全県・他圏域への波及 第3章 事業リスト</p>

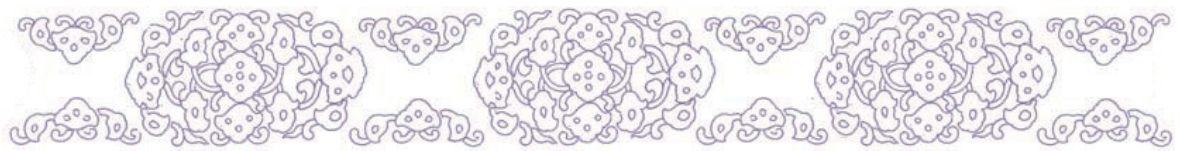


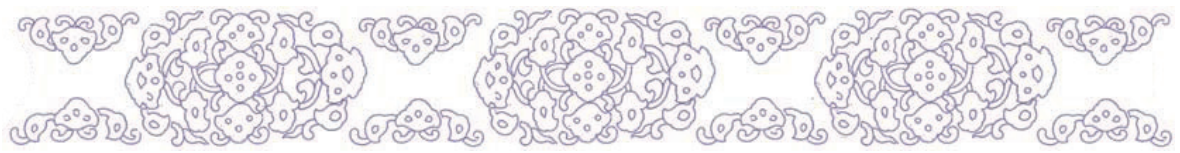
表 7-7-2 「平泉の文化遺産」保存管理／活用推進アクションプラン(2/2)

<p>計画概要 (構成資産に関して)</p>	<p>本アクションプランは、推薦資産及び緩衝地帯を含む平泉の「包括的保存管理計画」の内容を実践するための「事業計画版」として位置付けられ、資産の保存管理及び活用に関する施策の方向性を明らかにし、実施する事業を具体的に明示することを目的としている。</p> <p>対象地域においては、推薦資産の顕著な普遍的価値はもとより、周辺環境を構成する自然的要素及び歴史的要素の保存と活用について、住民生活とも調和した一体的な保存管理を目標としている。この達成に向け、対象地域全体において目標に照らした「現在の姿と課題」を把握し、課題解決に向けた「施策の基本的方向」を明らかにし、「具体的な事業を実施」することによって目標への到達を図っている。</p> <p>事業の実施に当たっては、課題を明らかにした上で、その重要度及び緊急性等に配慮しつつ取り組む必要があるため、実施期間を短期(3年間)及び中長期(5年間又はそれ以上)に区分している。</p> <p>保存管理に関するアクションプランでは、①資産の保存管理、②周辺環境の保全、③開発・観光圧力からの保全、④保存管理意識の醸成の4項目が基本軸として設定されている。①では、推薦資産を含む「平泉の文化遺産」の中心をなす史跡等についての保存管理に関する具体的な行動計画が示されている。②及び③では、緩衝地帯を含む対象地域全体における景観保全と開発・観光圧力のための具体的な行動計画が示されている。④では、知識の普及及び価値の伝達などの具体的な行動計画が示されている。これらはいずれも関連する各種計画との密接な連携を図りつつ、対象地域全体の一体的な保護・保全のため推進されている。現在実施中の事業は延べ91事業である。</p> <p>活用に関するアクションプランでは、①来訪者の受入れ態勢の整備、②魅力ある地域づくり、③情報発信と誘客事業の展開、④地域を支える人と産業づくり、⑤全県・他圏域への波及、の5項目が基本軸として設定されている。①では、来訪者の受入れ態勢のための主体・手段・方法についての具体的な行動計画が示されている。②では、「平泉の文化遺産」を活かしたまちづくり等のための具体的な行動計画が示されている。③では、対象地域の魅力を伝えるための情報発信の方法等について、具体的な行動計画が示されている。④では、地域住民との協働・交流のための具体的な行動計画が示されている。⑤では、広い地域スケールにおける回遊・周遊ルートの確立等のための具体的な行動計画が示されている。このように、活用に関するアクションプランでは、対象地域への来訪者に対してこの地域の魅力を伝えるとともに、「平泉の文化遺産」の保存管理と一体となった地域振興策としての事業が推進されている。現在実施中の事業は延べ93事業である。</p>
<p>連絡先</p>	<p>岩手県教育委員会事務局 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL:019-651-3111</p>



表 7-8 岩手県民計画

計画期間	2009年度～2018年度
実施主体	岩手県
計画策定者	岩手県
対象範囲	岩手県
目次	はじめに 第1章 岩手の今をみつめる 第2章 「ゆたかさ」「つながり」「ひと」で岩手の未来を拓く 第3章 私たちが実現していきたい岩手の未来 第4章 岩手の未来をつくる7つの政策 第5章 岩手の未来を切り拓く6つの構想 第6章 地域振興の展開方向 第7章 県政運営の基本姿勢 参考資料
計画概要 (構成資産に関して)	第3章「私たちが実現していきたい岩手の未来」中、1「みんなの基本目標」において、中尊寺供養願文の一節を引用し、それを踏まえて、「いっしょに育む「希望郷いわて」」という基本目標を掲げている。 第4章「岩手の未来をつくる7つの政策」中、5「教育・文化-「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現-」において、平泉の文化遺産の世界遺産登録に向けた取組みを推進するとともに、歴史遺産の理解と継承、国内外への情報発信を進めることとしている。 第5章「岩手の未来を切り拓く6つの構想」中、構想6「ソフトパワーいわて構想」において、文化に触れる機会の充実や活動を担う人材を育てる環境の整備を行うこととしている。
連絡先	岩手県総合政策部 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL:019-651-3111



c) 資産についての最近の記録の形態及び日付

中尊寺[1]

『平泉遺跡群発掘調査報告書—中尊寺第73次』平泉町教育委員会、2009年3月、印刷物

金色堂[11]・金色堂覆堂[1—2]

『国宝中尊寺金色堂附旧組高欄・附古材保存修理工事報告書』財団法人文化財建造物保存技術協会編集、1991年3月、印刷物

経蔵[1—3]

『重要文化財大長寿院経蔵・願成就院宝塔・釈尊院五輪塔保存修理工事報告書』財団法人文化財建造物保存技術協会編集、1978年3月、印刷物

毛越寺[2]

『特別史跡毛越寺境内附鎮守社跡整備報告書』平泉町教育委員会、2007年3月、印刷物

観自在王院[3]

『特別史跡毛越寺跡附鎮守社跡 特別名勝毛越寺庭園 名勝旧観自在王院庭園 第2次保存管理計画書』平泉町教育委員会、2005年、印刷物

無量光院跡[4]

『特別史跡無量光院跡発掘調査報告書Ⅱ—第19次調査—』平泉町教育委員会、2009年、印刷物

金鶏山[5]

『特別史跡無量光院跡・史跡柳之御所・平泉遺跡群(柳之御所遺跡)・史跡金鶏山・史跡達谷窟 保存管理計画書』平泉町教育委員会、2006年、印刷物

柳之御所遺跡[6]

『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡—第66次発掘調査概報—』岩手県教育委員会、2009年、印刷物

d) 資料管理機関住所

岩手県教育委員会 岩手県盛岡市内丸10番1号

平泉町教育委員会 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山
45-2

中尊寺 岩手県西磐井郡平泉町平泉字衣関202



毛越寺

岩手県西磐井郡平泉町平泉字大沢58

e) 参考文献

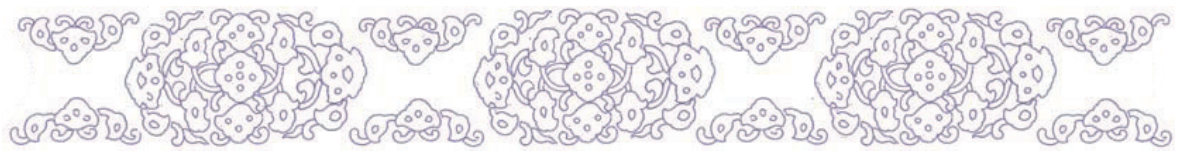
1) 資産全体に関する報告書

- ・『発掘庭園資料』奈良国立文化財研究所史料 第48冊、奈良国立文化財研究所、1998年
- ・『発掘庭園一覧 2002年版』独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 文化遺産研究部、2002年
- ・『平泉町遺跡分布図』平泉町教育委員会、2007年
- ・“Paradise and Gardens in Eastern Asia ,Final Report of the International Expert Meeting on Paradise and Gardens in Eastern Asia”, 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所・文化庁、2009年

2) 各構成資産に関する報告書(発掘調査・文化財修復等)

中尊寺(1)・大池伽藍跡(1-4)

- ・「平泉中尊寺大金堂前第1次発掘調査概報 『岩手大学学芸学部研究年報第13巻』、1958年
- ・『中尊寺文化財総合調査(一)』宗教法人中尊寺、1979年
- ・『中尊寺—発掘調査の記録—』平泉遺跡調査会(代表藤島亥治郎)・中尊寺、1983年
- ・『岩手県指定有形文化財法泉院小前沢坊庫裡保存修理工事報告書』財団法人文化財建造物保存技術協会編集、関山中尊寺、1990年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書—特別史跡中尊寺境内円乗院・大長寿院—』(第43集)平泉町教育委員会、1994年
- ・『特別史跡中尊寺境内金剛院発掘調査報告書』(第53集)平泉町教育委員会、1994年
- ・『中尊寺総合調査—第1次遺構確認調査報告書—』関山中尊寺、1994年
- ・『中尊寺総合調査—第2次遺構確認調査報告書—』関山中尊寺、1997年
- ・『特別史跡中尊寺境内内容確認調査報告書(Ⅰ)』(第66集)平泉町教育委員会、1997年



- ・『特別史跡中尊寺境内内容確認調査報告書(Ⅱ)遺構編』(第69集)平泉町教育委員会、1998年
- ・『特別史跡中尊寺境内内容確認調査報告書(Ⅲ)』(第74集)平泉町教育委員会、1999年
- ・『平泉遺跡群発掘調査略報－中尊寺跡第57・58・59次－』(第75集)平泉町教育委員会、2000年
- ・『中尊寺総合調査 中尊寺収蔵の出土遺物整理報告書』関山中尊寺、2000年
- ・『平泉遺跡群発掘調査略報－中尊寺跡第61・62次－』(第77集)平泉町教育委員会、2001年
- ・『平泉遺跡群発掘調査略報－中尊寺跡第61次Ⅱ期・63・64次－』(第78集)平泉町教育委員会、2002年
- ・『平泉遺跡群発掘調査略報－中尊寺跡第61次Ⅲ期・65次Ⅰ期・66・67次－』(第81集)平泉町教育委員会、2003年
- ・『中尊寺跡第65次発掘調査報告書－衣川右岸堤防築堤に係わる発掘調査－』(第84集)平泉町教育委員会、2004年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書－中尊寺第70次』(第92集)平泉町教育委員会、2005年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書－中尊寺第71次』(第97集)平泉町教育委員会、2006年
- ・『特別史跡中尊寺境内内容確認調査報告書－中尊寺第51・54・55・59・62・64・67・69次』(第98集)平泉町教育委員会、2006年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書－中尊寺第72次』(第108集)平泉町教育委員会、2008年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書－中尊寺第73次』(第110集)平泉町教育委員会、2009年



金色堂(11)・金色堂覆堂(1-2)

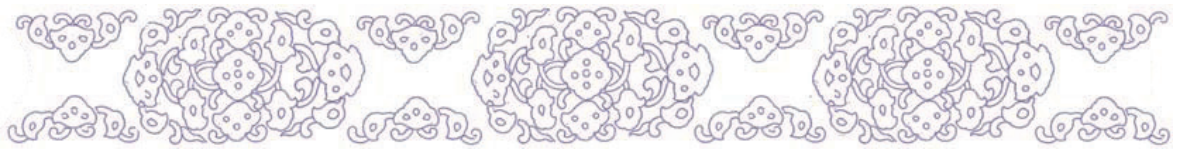
- ・『中尊寺と藤原四代 中尊寺学術調査報告』朝日新聞社編、朝日新聞社、1950年
- ・『中尊寺国宝重要文化財防災施設工事報告書』中尊寺、1959年
- ・『国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書』国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、彰国社、1968年
- ・『国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図』国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、彰国社、1968年
- ・『国宝中尊寺金色堂附旧組高欄・附古材保存修理工事報告書』財団法人文化財建造物保存技術協会編集、関山中尊寺、明新印刷株式会社、1991年
- ・『国宝中尊寺金色堂保存施設(新覆堂)改修工事報告書』関山中尊寺、1990年
- ・『中尊寺御遺体学術調査最終報告』中尊寺編、1994年
- ・「中尊寺金色堂」(太田博太郎編『日本建築史資料集成 仏堂Ⅱ』中央公論美術出版) 清水 擴 2003年

経蔵(1-3)

- ・『重要文化財大長寿院経蔵・願成就院宝塔・积尊院五輪塔保存修理工事報告書』財団法人文化財建造物保存技術協会編集、宗教法人中尊寺、1978年

毛越寺(2)・庭園(毛越寺庭園)(2-1)・常行堂(2-2)

- ・「円隆寺雨水溝発掘」『史蹟名勝天然記念物調査報告(第十号)』小田島禄郎、岩手縣、1930年
- ・「平泉史蹟の保存について」『史蹟名勝天然記念物(6-4・5・9・11、7-3・8)』服部勝吉、史蹟名勝天然記念物保存協会、1931~1932年
- ・『平泉—毛越寺と観自在王院の研究』藤島亥治郎編、東京大学出版会、1961年
- ・『特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書(第1次調査・第2次調査)』平泉町教育委員会、1981年
- ・『特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書』平泉町教育委員会、1982年



- ・『特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書(第4次調査)』平泉町教育委員会、1983年
- ・『特別史跡特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書—第5次調査—』(第2集)平泉町教育委員会、1984年
- ・『特別史跡特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書—第6次調査—』(第5集)平泉町教育委員会、1985年
- ・『特別史跡特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書—第7次調査—』(第7集)平泉町教育委員会、1986年
- ・『特別史跡特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書—第9次調査—』(第10集)平泉町教育委員会、1987年
- ・『特別史跡特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書—第11次調査—』(第12集)平泉町教育委員会、1988年
- ・『特別史跡特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書—第12次調査—』(第14集)平泉町教育委員会、1989年
- ・『特別史跡特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書—第13次調査—』(第26集)平泉町教育委員会、1991年
- ・『毛越寺跡発掘調査報告書—毛越寺本堂改築工事関連発掘調査—』(第127集)(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、1988年
- ・『花立I遺跡第2・3・4次 白山社遺跡第3次 西光寺跡第2次発掘調査報告書』(第89集)平泉町教育委員会、2004年

観自在王院跡(3)

- ・『平泉—毛越寺と観自在王院の研究』藤島亥治郎編、東京大学出版会、1961年
- ・『昭和47年度 平泉観自在王院跡整備発掘調査略報(第1次調査・第2次調査)』平泉町・平泉町教育委員会、観自在王院跡整備専門委員会、1973年
- ・『昭和48年度(第2次)観自在王院跡発掘調査 略報告』平泉町教育委員会、1973年
- ・『昭和50年度 観自在王院跡発掘調査報告書』平泉町教育委員会、1976年
- ・『昭和52年度 観自在王院跡発掘調査報告書』平泉町教育委員会、1978年

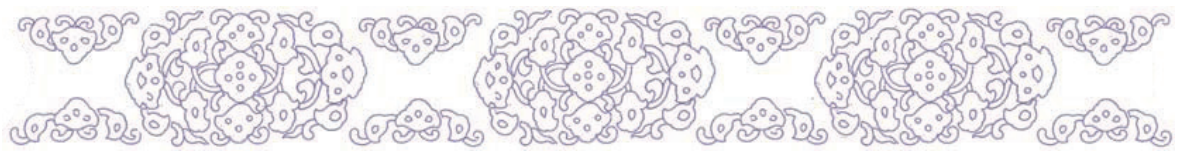


無量光院跡(4)

- ・『無量光院跡』埋蔵文化財発掘調査報告第三、文化財保護委員会、1954年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書－無量光院跡第1次－』(第34集)平泉町教育委員会、1993年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書－無量光院跡第4次－』(第47集)平泉町教育委員会、1995年
- ・『平泉遺跡群発掘調査略報－無量光院跡第8・9・10次－』(第75集)平泉町教育委員会、2000年
- ・『特別史跡無量光院跡内容確認調査報告書－第12次調査－』(第83集)平泉町教育委員会、2003年
- ・『特別史跡無量光院跡発掘調査報告書Ⅰ－第13次調査－』(第87集)平泉町教育委員会、2004年
- ・『特別史跡無量光院跡発掘調査報告書Ⅱ－第15次調査－』(第91集)平泉町教育委員会、2005年
- ・『特別史跡無量光院跡発掘調査報告書Ⅲ－第17次調査－』(第99集)平泉町教育委員会、2006年
- ・『特別史跡無量光院跡発掘調査報告書Ⅳ－第18次調査－』(第107集)平泉町教育委員会、2008年
- ・『特別史跡無量光院跡発掘調査報告書Ⅴ－第19次調査－』(第109集)平泉町教育委員会、2009年

金鶏山(5)

- ・「平泉花館遺址」『文化財調査報告第一輯』、岩手縣教育委員会、1951年
- ・『花立Ⅰ遺跡第2・3・4次 白山社遺跡第3次 西光寺跡第2次発掘調査報告書』(第89集)平泉町教育委員会、2004年

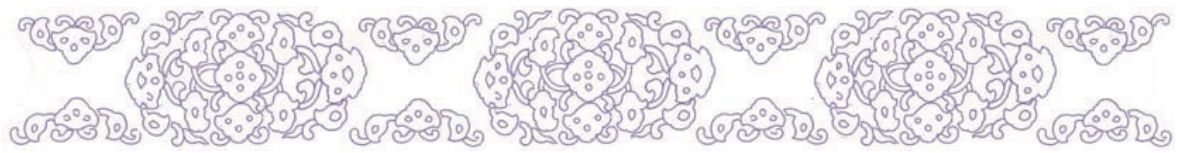


柳之御所遺跡(6)

- ・『平泉館(柳の御所)第1次発掘調査略報』平泉町、平泉町教育委員会、平泉遺跡調査会、1969年
- ・『平泉遺跡総合調査 第I期第1次平泉館跡発掘調査略報』平泉町、平泉町教育委員会、平泉遺跡調査会、1971年
- ・『平泉遺跡総合調査 柳の御所第3次発掘調査略報』平泉町、平泉町教育委員会、平泉遺跡調査会、1973年
- ・『柳之御所跡発掘調査報告書—第11・12次発掘調査概報—』(第1集)平泉町教育委員会、1983年
- ・『柳之御所跡発掘調査報告書—第13・14・15・16次発掘調査概報—』(第3集)平泉町教育委員会、1984年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書—柳之御所跡第17次・志羅山遺跡第2・3次調査概報—』(第6集)平泉町教育委員会、1985年
- ・『東北電力鉄塔用地発掘調査報告書』(第9集)平泉町教育委員会、1987年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書—伽羅之御所跡第2次・猫間が淵跡第1次・柳之御所跡第18次調査—』(第11集)平泉町教育委員会、1987年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書—猫間が淵跡第2次、柳之御所跡第19次調査—』(第13集)平泉町教育委員会、1988年
- ・『柳之御所跡発掘調査報告書—第20・22次発掘調査—』(第15集)平泉町教育委員会、1989年
- ・『柳之御所跡発掘調査報告書—第24次・25次調査概報—平泉バイパス・一関遊水地関連遺跡発掘調査』(第19集)平泉町教育委員会、1990年
- ・『柳之御所跡発掘調査報告書—第27次・29次調査概報—平泉バイパス・一関遊水地関連遺跡発掘調査』(第24集)平泉町教育委員会、1991年
- ・『柳之御所跡発掘調査報告書—第30次調査概報—平泉バイパス・一関遊水地関連遺跡発掘調査』(第28集)平泉町教育委員会、1992年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書—柳之御所跡第32次・33次・34次発掘調査—』(第29集)平泉町教育委員会、1992年



- ・『柳之御所跡発掘調査報告書－第35次調査概報－平泉バイパス・一関遊水地関連遺跡発掘調査』(第32集)平泉町教育委員会、1993年
- ・『平泉遺跡群範囲確認調査報告書－柳之御所跡第38次・39次・40次発掘調査－』(第33集)平泉町教育委員会、1993年
- ・『平泉遺跡群範囲確認調査－第37次柳之御所跡発掘調査報告書－』(第94集)岩手県教育委員会、1993年
- ・『柳之御所跡発掘調査報告書－平泉バイパス・一関遊水地関連遺跡発掘調査－』(第38集)平泉町教育委員会、1994年
- ・『平泉遺跡群範囲確認調査報告書－第42次柳之御所跡発掘調査報告書－』(第96集)岩手県教育委員会、1994年
- ・『平泉遺跡群範囲確認調査報告書－高館跡第3次・柳之御所跡第44次発掘調査－』(第39集)平泉町教育委員会、1994年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書－柳之御所跡第43次－』(第40集)平泉町教育委員会、1994年
- ・『柳之御所跡第45次発掘調査報告書－平泉変電所昇圧工事に伴う調査－』(第46集)平泉町教育委員会、1994年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書－柳之御所跡第46次－』(第47集)平泉町教育委員会、1995年
- ・『柳之御所跡－一関遊水地・平泉バイパス建設関連第21・23・28・31・36・41次発掘調査－』(第228集)(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、1995年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡－第47・48・49次発掘調査概報－』(第104集)岩手県教育委員会、1999年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡－第50次発掘調査概報－』(第107集)岩手県教育委員会、2000年
- ・『平泉遺跡群発掘調査略報－柳之御所跡第51次－』(第75集)平泉町教育委員会、2000年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡－第52次発掘調査概報－』(第111集)岩手県教育委員会、2001年
- ・『平泉遺跡群発掘調査略報－柳之御所跡第53・54次－』(第77集)平泉町教育委員会、2001年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡－第55次発掘調査概報－』(第113集)岩手県教育委員会、2002年



- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡－第56次発掘調査概報－』(第117集)岩手県教育委員会、2003年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡－第57次発掘調査概報－猫間が淵跡発掘調査本報告－第1次・第2次内容確認調査総括報告－』(第118集)岩手県教育委員会、2004年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡－第59次発掘調査概報－』(第121集)岩手県教育委員会、2006年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡－第64次発掘調査概報－』(第123集)岩手県教育委員会、2007年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡－第65次発掘調査概報－』(第125集)岩手県教育委員会、2008年
- ・『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡－第66次発掘調査概報－』(第127集)岩手県教育委員会、2009年

3)保存管理計画書

- ・『特別史跡中尊寺境内 保存管理計画書』平泉町教育委員会、1980年
- ・『特別史跡 毛越寺跡附鎮守社跡 特別名勝 毛越寺庭園 特別史跡 無量光院跡 保存管理計画書』岩手県平泉町・岩手県平泉町教育委員会、1987年
- ・『特別史跡中尊寺境内 第2次保存管理計画書』(第95集)平泉町教育委員会、2005年
- ・『特別史跡毛越寺跡附鎮守社跡 特別名勝毛越寺庭園 名勝旧観自在王院庭園 第2次保存管理計画書』(第96集)平泉町教育委員会、2005年
- ・『特別史跡無量光院跡・史跡柳之御所・平泉遺跡群(柳之御所遺跡)・史跡金鶏山・史跡達谷窟 保存管理計画書』(第102集)平泉町教育委員会、2006年
- ・『中尊寺境内国宝・重要文化財建造物 保存管理計画書』(第103集)平泉町・中尊寺・白山神社、2006年



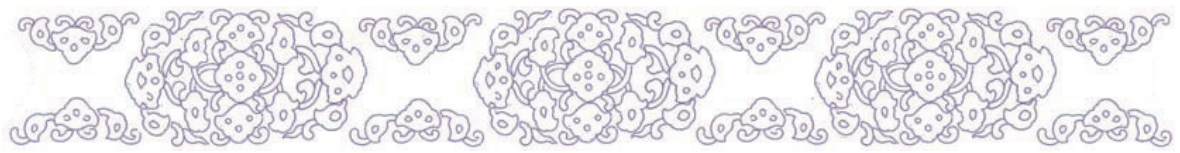
4) 整備活用計画書

- ・『特別史跡毛越寺跡附鎮守社跡 観自在王院跡整備報告書』平泉町教育委員会、1979年
- ・『柳之御所遺跡整備基本構想』岩手県教育委員会、1996年
- ・『柳之御所遺跡整備基本構想』岩手県教育委員会、2001年
- ・『柳之御所遺跡整備基本計画』岩手県教育委員会、2003年
- ・『史跡柳之御所遺跡整備実施計画』岩手県教育委員会、2004年
- ・『特別史跡毛越寺跡附鎮守社跡 史跡公園 観自在王院跡舞鶴が池岸保存修理工事報告書』(第86集)平泉町教育委員会、2004年
- ・『歴史都市平泉の将来を描く～平泉文化遺産整備構想～』平泉町世界遺産推進室、2004年
- ・『特別史跡中尊寺境内 大池跡整備基本構想報告書』平泉町、2005年
- ・『特別史跡無量光院跡整備基本計画書』平泉町、2005年
- ・『特別史跡毛越寺境内附鎮守社跡整備報告書』平泉町教育委員会、2007年

5) 平泉に関する図録・写真集等

① 資産全体に関するもの

- ・『中尊寺』藤島玄治郎、河出書房新社、1971年
- ・『平泉と鎌倉—永福寺遺物展記念—』蘇れ黄金・平泉祭実行委員会編、1995年
- ・『特別展 平泉 みちのくの浄土』NHK仙台・NHKプラネット東北、2008年
- ・『平泉遺跡群考古資料精選Ⅰ』平泉町教育委員会、2009年
- ・『平泉遺跡群考古資料精選Ⅱ』平泉町教育委員会、2009年



②各構成資産に関するもの

中尊寺(1)

- ・『中尊寺大観』齋藤隆三・柴田常恵、精華社、1918年
- ・『中尊寺総鑑』齋藤隆三・柴田常恵、大塚巧芸社、1925年
- ・『中尊寺大鏡』石田茂作、大塚巧芸社、1941年
- ・『中尊寺』監修石田茂作、朝日新聞社、1959年
- ・『中尊寺』保坂三郎、中央公論美術出版、1962年
- ・『日本の美術9 平等院と中尊寺』福山敏男、平凡社、1964年
- ・『中尊寺黄金秘宝展 奥州平泉文化の全貌』中尊寺黄金秘宝展
実行委員会編、1993年
- ・『中尊寺を歩く』中尊寺仏教文化研究所編集、2001年
- ・『国宝中尊寺展—奥州藤原氏三代の黄金文化と義経の東下り—』
財団法人 佐川美術館編集・発行、2004年

毛越寺(2)

- ・『日本の民俗藝能Ⅲ 延年』本田安次 木耳社、1969年

柳之御所遺跡(6)

- ・『柳之御所遺跡発掘調査展 発掘された北の都』岩手県立埋蔵文
化財センター・(財)岩手県文化振興事業団編集・発行、1995年
- ・『柳之御所資料館常設展示図録』平泉町文化財センター編、
2000年

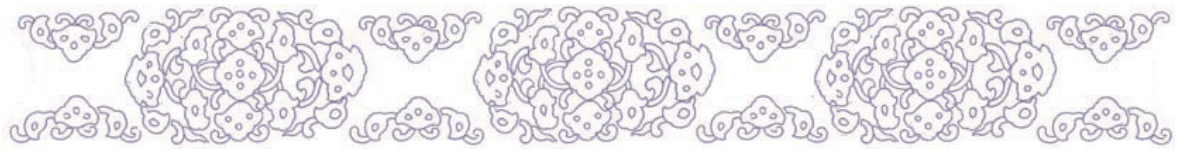
6)海外における平泉に関する主な研究書等

- ・Hiraizumi:Buddhist Art and Regional Politics in Twelfth — Century
Japan, Yiengpruksawan,Mimi Hall, Harvard University press, 1998年
- ・GRAND DICTIONNAIRE ENCYCLOPEDIQUE LAROUSSE TOME
4』LIBRAIRIE LAROUSSE, 1982年
- ・ENCICLOPEDIA VNIVERSAL ILVSTRADA EVROPEO —
AMERICANA TOMO V (APENDICE), 1996年
- ・『仏国寺蓮池に関する一考察』、『韓国庭苑学会誌』(ハングル)1
2—2 pp 75~82, 洪光杓 1994年



7)国内における平泉に関する主な研究書

- ・『奥州藤原氏四代』高橋富雄、吉川弘文館、1958年、新装版1987年
- ・『平泉—毛越寺と観自在王院の研究』藤島亥治郎編、東京大学出版会、1961年
- ・『中世奥羽の世界』小林清治・大石直正編、東京大学出版会、1978年
- ・『日本庭園史話』森 蘊、日本放送出版協会、1981年
- ・『解説 山水並に野形図・作庭記』上原敬二編(著)、加島書店、1982年
- ・『中尊寺史稿』佐々木邦世、1983年
- ・『平泉 中尊寺・毛越寺の全容』藤島亥治郎監修、中尊寺・毛越寺、1986年
- ・『「作庭記の世界」平安期の庭園美』森 蘊、日本放送出版協会、1986年
- ・『平泉関係文書の研究』佐々木博康、国書刊行会、1987年
- ・『日本の古寺美術 19 中尊寺と毛越寺』須藤弘敏・岩佐光晴共著、保育社、1989年
- ・「中尊寺金色堂の諸問題(上)—藤原氏葬法に関する一視座—」『岩手史学研究』第71号、菅野成寛、1988年
- ・「中尊寺金色堂の諸問題(下)—諸仏安置法を主として—」『岩手史学研究』第72号、菅野成寛、1989年
- ・『中尊寺金色堂と平安時代漆芸技法の研究』中里壽克、至文堂、1990年
- ・『平泉—よみがえる中世都市』斉藤利男、岩波新書(新赤版)214、岩波書店、1992年
- ・『日本の美術11 第318号 中尊寺の漆芸』中里壽克、至文堂、1992年
- ・『奥州藤原氏と柳之御所跡』平泉文化研究会(代表大石直正)編、吉川弘文館、1992年
- ・『日本史の中の柳之御所跡』平泉文化研究会(代表大石直正)編、吉川弘文館、1993年
- ・『日本古代の庭園と景觀』本中 眞、吉川弘文館、1994年
- ・『平泉建築文化研究』藤島亥治郎編著、吉川弘文館、1995年



- ・「特集:浄土庭園」、『日本庭園学会誌』第6号、日本庭園学会、1998年
- ・『平泉中尊寺 金色堂と経の世界』佐々木邦世、中尊寺、吉川弘文館、1999年
- ・『日本考古学協会2001年度盛岡大会研究発表資料集 都市・平泉－成立とその構成－』日本考古学協会2001年度盛岡大会実行委員会編、2001年
- ・『奥州藤原氏五代－みちのくが一つになった時代－』大矢邦宣、河出書房新社、2001年
- ・『平泉文化研究年報』第1号、岩手県教育委員会編、2001年
- ・『平泉文化研究年報』第2号、岩手県教育委員会編、2002年
- ・『平泉文化研究年報』第3号、岩手県教育委員会編、2003年
- ・『平泉文化研究年報』第4号、岩手県教育委員会編、2004年
- ・『平泉文化研究年報』第5号、岩手県教育委員会編、2005年
- ・『平泉文化研究年報』第6号、岩手県教育委員会編、2006年
- ・『平泉文化研究年報』第7号、岩手県教育委員会編、2007年
- ・『平泉文化研究年報』第8号、岩手県教育委員会編、2008年
- ・『平泉文化研究年報』第9号、岩手県教育委員会編、2009年
- ・『日本美術2 第429号 発掘された庭園』田中哲雄、至文堂、2002年
- ・『日本の庭園』進士五十八、中公新書1810、中央公論新社、2005年
- ・『平泉への道－国府多賀城・胆沢鎮守府・平泉藤原氏－』工藤雅樹、雄山閣、2005年



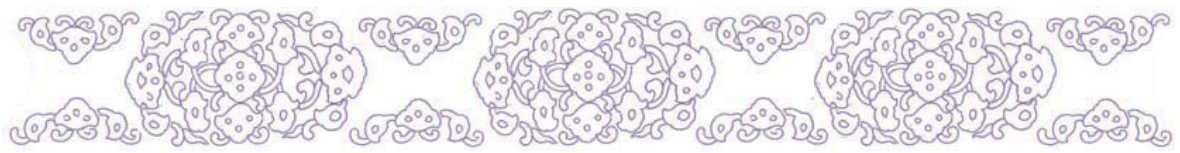
8) 歴史資料

(海外)

- ・『宋史』巻491 外国伝・日本国(『宋史』日本伝) (14世紀)、『新訂 旧唐書倭国日本伝・宋史日本伝・元史日本伝—中国正史日本伝(2)—』石原道博編訳、岩波文庫、岩波書店、1956年、新訂版1986年

(国内)

- ・『作庭記』(平安時代)『古代中世藝術論』日本思想大系23、林屋辰三郎校注、岩波書店、1973年
- ・『中右記』(寛治1～保延4年1087～1138)『増補史料大成』9～15、臨川書店、1980年
- ・『台記』(保延2～久寿2年1136～1155)『増補史料大成』23～25、臨川書店、1989年
- ・『玉葉』第1～第3(長寛2～建仁2年1164～1203)国書刊行会、1906・1907年
- ・『陸奥話記』(平安時代後期)『古代政治社会思想』日本思想大系8、大曾根章介校注、岩波書店、1979年
- ・『奥州後三年記』(貞和3年1347)『群書類従』第20輯、合戦部、塙保己一編纂、続群書類従完成会、1932年、訂正3版1990年
- ・『吾妻鏡』前篇・後篇(13世紀後半～14世紀編纂)『新訂増補 国史大系』第32巻・第33巻、黒板勝美・国史大系編修会編輯、吉川弘文館、1964・1965年
- ・『義経記』(室町時代1392～1450)、島津久基校訂、岩波文庫、岩波書店、1939年
- ・『山家集』西行(12世紀以降・制作年代不詳)、佐々木信綱校訂、岩波文庫、岩波書店、1928年
- ・『おくのほそ道』松尾芭蕉(元禄2年1689)、久富哲雄全訳注、講談社、2005年
- ・「奥羽観蹟聞老志 卷之十」佐久間義和(享保4年1719)『仙台叢書』奥羽観蹟聞老志 上・下、仙台叢書刊行会、1928・1929年
- ・『平泉旧蹟志』相原友直(宝暦10年1760)、『仙台叢書』第1巻、仙台叢書刊行会、1922年



- ・『風土記御用書出 西磐井郡平泉村』(安永年間 1772～1781)
『宮城県史』27、資料篇5、宮城県史刊行会、1959年、復刻版 1987年
- ・『書出 岩井郡西岩井平泉村 天台宗醫王山金剛院毛越寺』(安永4年 1775)『宮城県史』27、資料篇5、宮城県史刊行会、1959年、復刻版 1987年
- ・『書出 磐井郡西磐井郷中尊寺村 天台宗関山中尊寺弘台壽院』(安永4年 1775)『宮城県史』27、資料篇5、宮城県史刊行会、1959年、復刻版 1987年
- ・『かすむこまかた』菅江真澄(天明6年 1786)、『菅江真澄遊覧記 2』内田武志・宮本常一編訳、東洋文庫68、平凡社、1966年
- ・『奥州平泉文書』文化財調査報告第5集、岩手県教育委員会、1958年
- ・『奥州藤原史料(東北史史料集2)』東北大学東北文化研究会編、吉川弘文館、1959年
- ・『岩手金石志』岩手県文化財調査報告第8集、岩手県教育委員会、1961年、復刊 1985年
- ・『紺紙金字一切経』(国宝)中尊寺大長寿院所蔵
- ・『紙本墨書中尊寺建立供養願文』(重要文化財)中尊寺大長寿院所蔵
- ・『中尊寺文書』(重要文化財)中尊寺金色院所蔵

9) 自治体史

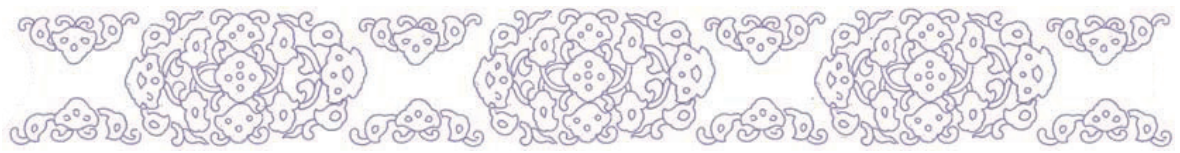
- ・『岩手県史』第一巻、上古編・上代編、岩手県、1961年
- ・『平泉町史』史料編一、平泉町史編纂委員会編、平泉町、1985年
- ・『平泉町史』史料編二、平泉町史編纂委員会編、平泉町、1993年
- ・『平泉町史』総説・論説編、平泉町史編纂委員会編、平泉町、1988年
- ・『平泉町史』自然編・民俗編(一)、平泉町史編纂委員会編、平泉町、1997年
- ・『宮城県史(復刻版)』27(資料編5)宮城県史編纂委員会、宮城県史刊行会、1987年
- ・『宮城県史(復刻版)』28(資料編6)宮城県史編纂委員会、宮城県史刊行会、1987年



10) 図版・写真出典

① 図版出典一覧

- ・要約5ページ、「平泉・一関・古戸・前沢」 1 / 25,000地形図、国土地理院
- ・本推薦書5ページ、図1-4、「一関」1 / 200,000地形図、国土地理院
- ・本推薦書6ページ、図1-5、「平泉・一関・古戸・前沢」 1 / 25,000地形図、国土地理院
- ・本推薦書31ページ、図2-3-1、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、260ページに掲載の図
- ・本推薦書31ページ、図2-3-2、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、261ページに掲載の図
- ・本推薦書31ページ、図2-3-3、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、262ページに掲載の図
- ・本推薦書31ページ、図2-3-4、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、263ページに掲載の図
- ・本推薦書31ページ、図2-3-5、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、259ページに掲載の図
- ・本推薦書38ページ、図2-4、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、149ページに掲載の図(一部改変)
- ・本推薦書38ページ、図2-5、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、152ページに掲載の図
- ・本推薦書38ページ、図2-6、「中尊寺金色堂」『日本建築史資料集成5 仏堂Ⅱ』清水 擴、2006年、168ページに掲載の図10
- ・本推薦書39ページ、図2-7、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、149ページに掲載の図(一部改変)



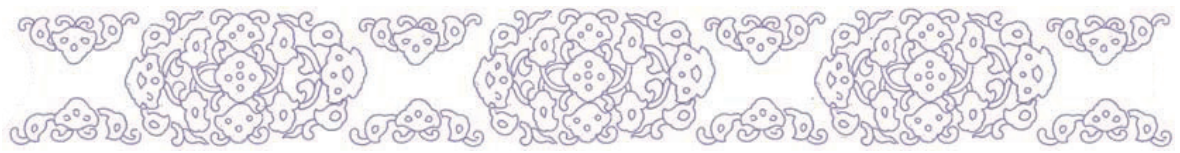
- ・本推薦書39ページ、図2-8、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、128ページに掲載の図(一部改変)
- ・本推薦書43ページ、図2-9-1、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、271ページに掲載の図
- ・本推薦書43ページ、図2-9-2、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、272ページに掲載の図
- ・本推薦書45ページ、図2-10-1、「重要文化財大長寿院経蔵・願成就院宝塔・釈尊院五輪塔保存修理工事報告書」財団法人文化財建造物保存技術協会編集、1978年、図2
- ・本推薦書45ページ、図2-10-2、「重要文化財大長寿院経蔵・願成就院宝塔・釈尊院五輪塔保存修理工事報告書」財団法人文化財建造物保存技術協会編集、1978年、図3
- ・本推薦書45ページ、図2-10-3、「重要文化財大長寿院経蔵・願成就院宝塔・釈尊院五輪塔保存修理工事報告書」財団法人文化財建造物保存技術協会編集、1978年、図1
- ・本推薦書45ページ、図2-10-4、「重要文化財大長寿院経蔵・願成就院宝塔・釈尊院五輪塔保存修理工事報告書」財団法人文化財建造物保存技術協会編集、1978年、15ページに掲載の図4(一部改変)
- ・本推薦書49ページ、図2-12、「中尊寺-発掘調査の記録-」平泉遺跡調査会、1983年、図38(一部改変)
- ・本推薦書49ページ、図2-13、「中尊寺-発掘調査の記録-」平泉遺跡調査会、1983年、117ページ掲載の図45(一部改変)
- ・本推薦書53ページ、図2-16、「平泉-毛越寺と観自在王院の研究」藤島亥治郎編、1961年、DR.6(一部改変)
- ・本推薦書80ページ、図2-23、「平泉-毛越寺と観自在王院の研究」藤島亥治郎編、1961年、DR.16(一部改変)
- ・本推薦書95ページ、図2-29、「無量光院跡」文化財保護委員会 1954年、Pl.9(一部改変)
- ・本推薦書95ページ、図2-30 「無量光院跡」文化財保護委員会、1954年、Pl.35(改変)



- ・本推薦書125ページ、図2-44 Early Style of Chinese Gardens and Ancient Gardens in Japan ‘Paradise and Gardens in East Asia’, Tan Tanaka, Nara National Research Institute for Cultural Properties and Agency for Cultural Affairs, 2009年（原典：「敦煌建築研究」蕭默、文物出版社、北京、1989年）
- ・本推薦書136ページ、図2-47、「宇治遺跡群」杉本 宏、2006年、44ページに掲載の図17（一部改変）
- ・本推薦書138ページ、図2-48、「院政期の京都 白河と鳥羽」京都市・(財)京都市埋蔵文化財研究所、2007年、6ページに掲載の図（一部改変）
- ・本推薦書138ページ、図2-48、「法勝寺」『国史大辞典 第12巻ふ〜ほ』福原隆善、1991年、761ページに掲載の図（一部改変）（原典：「日本建築史研究」福山敏男、1968年）
- ・本推薦書138ページ、図2-50、「院政期の京都 白河と鳥羽」京都市・(財)京都市埋蔵文化財研究所、2007年、14～15ページに掲載の図（一部改変）
- ・本推薦書140ページ、図2-52、「日本古代の庭園と景観」本中 眞、1994年、356ページに掲載の図206（一部改変）
- ・本推薦書142ページ、図2-56、Structure and Chronology of the Pure Land Garden in Japan, ‘Paradise and Gardens in East Asia’, Tan Tanaka, Nara National Research Institute for Cultural Properties and Agency for Cultural Affairs, 2009年（一部改変）
- ・本推薦書167ページ、図3-1、「韓国の建築」尹 張燮著、西垣 安比古訳、2003年、220ページに掲載の図187（一部改変）
- ・本推薦書197ページ、図4-3、「平泉・一関・古戸・前沢 1 / 25,000地形図」国土地理院
- ・本推薦書198ページ、図4-4、「平泉・一関・古戸・前沢 1 / 25,000地形図」国土地理院
- ・本推薦書199ページ、図4-5、「平泉・一関・古戸・前沢 1 / 25,000地形図」国土地理院

②写真出典一覧

- ・本推薦書36ページ、写真2-14、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、23



ページに掲載の写真

- ・本推薦書36ページ、写真2-15、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、23ページに掲載の写真
- ・本推薦書36ページ、写真2-16、「国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書 附図」国宝中尊寺金色堂保存修理委員会、1968年、23ページに掲載の写真
- ・本推薦書49ページ、写真2-29、「中尊寺-発掘調査の記録-」平泉遺跡調査会、1983年、95ページに掲載の no.1 05の写真
- ・本推薦書49ページ、写真2-30、「中尊寺-発掘調査の記録-」平泉遺跡調査会、1983年、95ページに掲載の no.1 06の写真
- ・本推薦書49ページ、写真2-31、「中尊寺-発掘調査の記録-」、平泉遺跡調査会、1983年、114ページ、no.1 39
- ・本推薦書53ページ、写真2-34、「平泉-毛越寺と観自在王院の研究」藤島亥治郎編、1961年(一部改変)
- ・本推薦書95ページ、写真2-77、「無量光院跡」文化財保護委員会、1954年
- ・本推薦書95ページ、写真2-78、「無量光院跡」文化財保護委員会、1954年
- ・本推薦書95ページ、写真2-79、「無量光院跡」文化財保護委員会、1954年
- ・本推薦書167ページ、写真3-11、「九品蓮池発掘 仏国寺復元工事報告書」(ハングル)崔 夢龍、1976年 64ページに掲載の写真
- ・本推薦書169ページ、写真3-16、Gyeongbokgung, ‘HyangWonJeong in Gyeongbokgung, Seoul.’ Wikipedia, Joon - Young, Kim, 2006年
- ・本推薦書172ページ、写真3-22、Chengde Mountain Resort, ‘The Chengde Mountain Resort,’ Wikipedia, Wang Leon, 2005年
- ・本推薦書172ページ、写真3-23、「蘇州古典園林」“Tuisi Garden in Tongli,” Wikipedea, Gisling, 2004年
- ・172ページ、写真3-24、Lumbinibodhi Bodhitree and the pond, ‘Mayadevi (Buddha’s mother) took a bath before giving birth to the future Buddha,’ Wikipedia, Bpilgrim, 2006
- ・172ページ、写真3-25、Sigiriya, ‘Sigiriya WaterGardens, Sigiriya’, Wikipedia, Nataraja, 2005
- ・173ページ、写真3-26、「タージ・マハル」“TajGardenWide,” Wikipedia, Philip Greenspun, 2005